

第28回 松本賞 木村正氏(大阪府) 受賞決定



大阪大学大学院医学系研究科
(産科学婦人科学講座) 教授

木村 正氏

※2024年4月1日からは地方独立法人堺市立
病院機構理事長となる。

会、勝部まゆみ(ジョイセフ)、北村邦夫(本会)(敬称略)から構成されている。

木村氏は1985年3月大阪大学医学部を卒業後、同大学産科学婦人科学教室で修練を開始し、関連病院での研鑽、ドイツハンブルグ大学留学などを経験し、2006年9月に大阪大学教授に着任、教室を主宰した。18年4月から2年間大阪大学医学部附属病院院長を務めた。大阪大学時代には673報の英文原著・症例報告・総説を刊行し、教授在職中に216名の新専攻医を迎え、104名が学位を取得するなど産婦人科の発展に寄与した。

24年4月1日から地方独立法人堺市立病院機構理事長。

同氏は13年に開始した大阪府における、産科と高度救命救急センターとの協働により重篤な妊産婦の救命を図る最重症妊産婦受入事業の展開に指導的役割を果たし、大阪の妊産婦死亡防止に貢献した。日本産科婦人科学会では11年より常務理事、19年から23年に理事長を歴任、その後監事に就任。常務理事時代に国際産婦人科連合(FIGO)の日本代表理事などを務め、JICA資金を得てカンボジア産婦人科学会への支援事業を行い、同国の子宮頸がん検診体制の礎を築いた。理

事長時代には、セクシユアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を産婦人科医、並びに国民に普及推進すること

に務め、この概念に基づき出生前・着床前遺伝学的検査に関して専門家や市民と対話し倫理的側面も重視しつつ実践する体制を確立した。HPVワクチン接種勧奨差し控え問題について、多くの有効性に関する医学的データを国民に示し、行政の勧奨再開を後押しした。流行を極めたCOVID-19感染症に対し、他学会と協力して特に妊婦に

た。また、24年度より本格化する「医師の働き方改革」に向けての提言を種々行った。

23年より日本医学会連合理事。産科医療補償制度の再発防止委員会委員を12年より、委員長を18年から現在まで務め医療安全と医療者・妊産婦間の相互理解に貢献している。

これら一連の社会活動に対し、19年には産科医療功労者として厚生労働大臣表彰を受けた。同氏の女性のセクシユアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの向上に関する幅広い功績は、その産婦人科専門医教育、産科学・婦人科学・生殖医学に関する多大な貢献とともに、由緒ある松本賞に値するものと評価され、今回の受賞に至ったものである。

(2024年4月2日掲載)

「第9回男女の生活と意識に関する調査」結果報告会開催される

3月15日、本学会議室(渋谷区幡ヶ谷)において、「第9回 男女の生活と意識に関する調査」結果報告会が行われた。

本調査は、深刻化するし、わが国のセクシユア

少子化の原因を探り有効な対策を講じると共に、ヘルスの推進に資するべく、本会が公益事業として行っているものである。2002年より2年

ごとに行われていたが、2016年の第8回調査以来、実施が見送られ、このたび7年ぶりに再開された。

なお、今回よりアドバイザーボードを設置しており、調査内容の精査から結果の集計・考察に至るまで、識者による意見が反映されている。

報告会では、訪れた報道関係者・関連企業等に対して、本調査責任者である本学会長北村邦夫から概要の報告がなされた。主な内容は下記の通りである。

●婚姻関係にある男女の48・3%が1か月以上セックスをしていない(前回調査より1・1ポイント増)。婚姻関係にある男女のセックスレス化に歯止めがかからない状況が浮き彫り

このほかに、緊急避妊薬の使用、人工妊娠中絶手術の実施状況、経口妊娠中絶薬に関するイメージ、子宮頸がん予防ワクチンに対する意識、プレ

4月1日より施行される、女性の健康と権利に関する主な法律です。1) 覧ください。

嫡出推定制度の見直し(改正民法)・女性支援新法施行される

4月1日、嫡出推定制度の見直しが盛り込まれた改正民法(令和4年法律第102号)が施行された。主なポイントは下記の通り。

嫡出推定制度の見直し

●女性の再婚禁止期間(施行前100日間)の廃止

●嫡出否認の訴えの出訴期間を1年から3年に延長

また、本日から1年間、本法律施行前に生まれた子は、再婚後の夫

女性支援新法施行される

令和6年
4月1日

の子と推定する

●女性の再婚禁止期間(施行前100日間)の廃止

●嫡出否認の訴えの出訴期間を1年から3年に延長

詳しい情報はコチラ

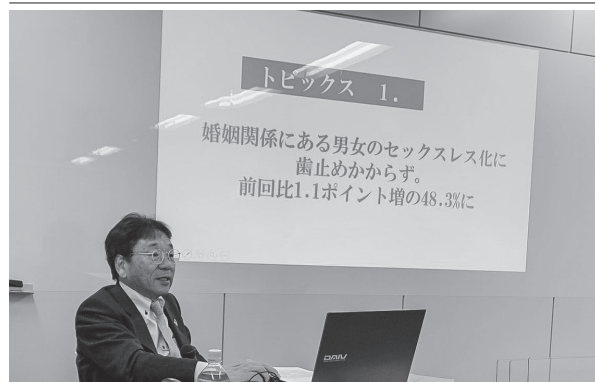
改訂する法律について

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)施行

家庭内暴力・貧困・性被害・性的搾取など、困難な問題を抱える女性への支援強化に関する法律

詳しい情報はコチラ

厚生労働省「困難な問題を抱える女性への支援」(2024年4月1日掲載)



本学会長北村邦夫が今回の調査の概要を語った

アドバイザーボード委員

(五十音順・敬称略)

池田裕美枝 (医療法人心鹿会海と空クリニック 京都駅前)

岩永 直子 (医療記者)

上田 豊 (大阪大学医学部産婦人科)

尾島 俊之 (浜松医科大学社会医学講座教授)

杉村由香理 (日本家族計画協会家族計画研究センター)

園田 正樹 (株式会社グッドバトン)

三戸 麻子 (国立成育医療研究センター・周産期・母性診療センター母性内科)

※本調査の詳しい情報は本
会家族計画研究センタ
(TEL: 03-6407-8363) までお問い
合わせください
(2024年4月3日掲載)

「こどもまんなか 児童福祉週間」 (5/5~11)

令和6年度「こどもまんなか 児童福祉週間」

こども家庭庁は、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「こどもまんなか 児童福祉週間」と定めている。

令和6年度は下記標語のもと、こどもの健やかな成長、こどもや家庭を取り巻く環境について考えることを目的に各種事業および行事を展開する。

令和6年度「こどもまんなか 児童福祉週間」標語

「好きなこと
どんどんふやして
おおきなあれ」

香川県・加藤 共泰 (かとう ともやす) さん 6歳の作品

詳細は
コチラ

「こどもまんなか 児童福祉週間」
こども家庭庁

(2024年4月17日掲載)

10月1日～7日は「全国労働衛生週間」

厚生労働省

厚生労働省は、10月1日(火)から7日(月)まで、2024年度「全国労働衛生週間」を実施する。今年度のスローガンは、「推します みんな笑顔の健康職場」。

目的に、この間、各職場で職場巡視やスローガン掲示、労働衛生に関する講習会・見学会の開催など、さまざまな取り組みが展開される。

詳しい情報は「コチラ」

厚生労働省「令和6年度『全国労働衛生週間』を10月に実施」
(2024年8月1日掲載)

男性は初の30%超 育児休業取得者

「令和5年度雇用均等基本調査」厚生労働省

7月31日、厚生労働省は「令和5年度雇用均等基本調査」の結果を公表した。

このほか、企業調査では、女性管理職等を有する企業の割合、管理職等に占める女性の割合は、

育児休業取得者の割合は、女性84・1%（前回80・2%）、男性30・1%

それぞれ微増している。

詳しい情報は「コチラ」

厚生労働省「令和5年度雇用均等基本調査」
(2024年8月1日掲載)

熱中症による救急搬送 2週連続1万人超

消防庁

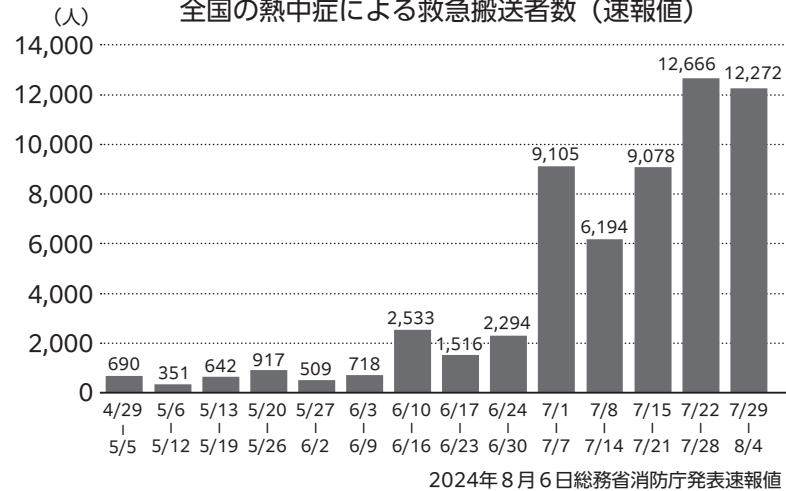
8月6日、総務省消防庁が発表した「熱中症による救急搬送人員」（速報値）によると、全国の熱中症による救急搬送者数は、7月29日～8月4日の1週間で1万2272人となり、前週の1万2666人に続いて2週連続で1万人を超えた。搬送者のうち死者は21人であった。

年齢区分別に見ると、高齢者（60・3%）が最も多く、次いで成人（30・9%）、少年（8・4%）、乳幼児（0・4%）の順となっている。初診時における傷病程度別では、軽症（62・0%）が最も多く、次いで中等症（33・5%）、重症（3・1%）の順であった。発生場所別の救急搬送人員を見ると、住居（41・6%）が最も多く、次いで道路（18・6%）、公衆へ屋外（12・2%）、仕事場（道路工事現場、工場作業所等）（9・3%）の順となっている。都道府県別の最多は東京都の1008人であった。

詳しい情報は「コチラ」

総務省消防庁「熱中症による救急搬送状況」
(2024年8月9日掲載)

全国の熱中症による救急搬送者数（速報値）



小中高生の5人に1人 ネット依存か

国立成育医療研究センター

7月29日、国立成育医療研究センターは「新型コロナウイルス感染症流行が、小中高生の約半数が行っている親子の生活と健康への影響に関する実態調査」（郵送調査）の調査結果を公表した。この調査は2020～23年

また、抑うつについては、中等度以上の抑うつ症状が21年は11・4%、22年と23年は13・3%となり、改善は見られなかった。

詳しい情報は「コチラ」

国立成育医療研究センター「コロナ禍における親子の生活と健康の実態調査」
(2024年8月2日掲載)

HPVワクチン未接種者の公費によるキャッチアップ接種は2025年3月末まで

日本小児科学会

日本小児科学会は同学会サイト上で、HPVワクチン接種の機会が来年3月末で終了することに伴い、接種希望者には早めに検討するよう呼びかけている。

HPVワクチンは、2013年6月から接種勧奨の一時差し控えがあったことから、接種を

「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 良い睡眠 ～健康寿命の延伸～」

9月1～30日は2024年度健康増進普及月間

厚生労働省

厚生労働省は生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性についての理解を深め、健康づくりの実践を促進するため、9月1～30日までの1か月間を「健康増進普及月間」と定めている。本年も「1に運動 2に食事 3に禁煙 4に睡眠 5に健康寿命の延伸」を標語に、ポスター作成やイベント開催など啓発普及活動を行う。

詳しい情報は「コチラ」
(2024年8月29日掲載)

9月は「職場の健康診断実施強化月間」

厚生労働省

厚生労働省では、毎年9月を「職場の健康診断実施強化月間」と位置付け、「健康診断及び事後措置の実施の徹底」と「医療保険者との連携」の啓発を行っている。

詳しい情報は「コチラ」

厚生労働省「9月は『職場の健康診断実施強化月間』です（リーフレット）」
厚生労働省「『職場の健康診断実施強化月間』の実施に関する協力依頼について（通知）」
(2024年8月29日掲載)

9月17日は世界患者安全の日

WHO

WHOは毎年9月17日を「世界患者安全の日（World Patient Safety Day）」と定め、患者の安全性を高めるために市民の公衆衛生に対する意識の向上、患者、医療従事者、政策立案者などの協力の推進を啓発している。今年のテーマとスローガンは下記の通り。

診断は患者の健康問題を特定し、必要な治療と看護を受ける鍵となる。診断ミスの原因としては患者の健康問題について正しく速やかな説明を確立できなかったことであり、これには、診断の遅延、正確ではない、もしくは見逃された診断、そして、その説明を患者に伝えなかったことが含まれる。

WHOは、診断の安全性は、医療従事者同士や医療従事者と患者との間のコミュニケーション不足など診断ミスへとつながる可能性がある方法の問題や、負担の増加、効率の良くないチームワークなど組織の問題の改善、臨床医のトレーニングと経験を向上、また疲労やストレスを軽減させることにより診断の安全性は大幅に増していく。

WHO World Patient Safety Day, 17 September 2024: "Improving diagnosis for patient safety"
(2024年8月29日掲載)

病院・地域における高齢者のポリファーマシー 対策の手順書を通知

厚生労働省

7月22日、厚生労働省医薬安全対策課は都道府県他あてに「『病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方』及び『地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方』について」（医薬安発0722第1号）を通知した。

「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」が追加された。

「地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」で、地域の多様な主体は、自治体、保険者、医師会、病院関係者、診療所関係者、薬剤師会、薬局関係者、看護関係者、介護関係者、看

詳しい情報は「コチラ」

厚生労働省「『病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方』及び『地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方』について」の通知発出について
(2024年8月1日掲載)

は、病院だけでなく地域全体で取り組むと実効性がより高まるとして、今年6月に開催された同検討会での議論を経て「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」の改訂版など、今回新たに「地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」が追加された。

「地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」が追加された。

厚生労働省「『病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方』及び『地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方』について」の通知発出について
(2024年8月1日掲載)

は、自治体、保険者、医師会、病院関係者、診療所関係者、薬剤師会、薬局関係者、看護関係者、介護関係者、看

は、自治体、保険者、医師会、病院関係者、診療所関係者、薬剤師会、薬局関係者、看護関係者、介護関係者、看

は、自治体、保険者、医師会、病院関係者、診療所関係者、薬剤師会、薬局関係者、看護関係者、介護関係者、看

は、自治体、保険者、医師会、病院関係者、診療所関係者、薬剤師会、薬局関係者、看護関係者、介護関係者、看

は、自治体、保険者、医師会、病院関係者、診療所関係者、薬剤師会、薬局関係者、看護関係者、介護関係者、看

「高齢者社会対策大綱」

内閣府

9月13日、「高齢者社会対策大綱」が閣議決定され、公表された。日本では、世界的に見ても平均寿命が高い水準にあるが、一方で、高

下記の基本的考え方のもと、今後、持続可能な社会を築くための環境整備をしていく。

(1)年齢に関わりなく希望にに応じて活躍し続けられる経済社会の構築

(2)一人暮らしの高齢者の増加等の環境変化に適切に対応し、多世代が共に安心して暮らせる

社会的構築

(3)加齢に伴う身体機能・認知機能の変化に対応したきめ細かな施策展開・社会システムの構築

内閣府「高齢社会対策大綱」

（2024年9月18日掲載）

世界メンタルヘルスデー2024

「つながる、どこでも、だれにでも」

厚生労働省

厚生労働省は、9月13日、「世界メンタルヘルスデー2024」特設サイトを公開した。

詳しい情報は「コチラ」

10月10日の世界メンタルヘルスデーに向けて啓発を行うっていくほか、各地でのイベント情報など

厚生労働省「世界メンタルヘルスデーJAPAN 2024特設サイト」

（2024年9月18日掲載）

認知症／アルツハイマーの啓発を！

認知症の日・世界アルツハイマーデー

9月21日は、国際アルツハイマー病協会と世界保健機関が共同で「世界アルツハイマーデー」と制定、9月を世界アルツハイマー月間としています。

厚生労働省「認知症の日／認知症月間（世界アルツハイマーデー／世界アルツハイマー月間）」について

（2024年9月18日掲載）

咳エチケット・手洗いなどで今から予防を！

結核・呼吸器感染症予防週間

厚生労働省では、9月24～30日を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定め、呼吸器感染症が本格的に流行する前から、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気等の感染対策や、予防接種の重要性等を啓発しています。

詳しい情報は「コチラ」

厚生労働省「結核（BCGワクチン）」

（2024年9月18日掲載）

統計からみた我が国の高齢者の現状を発表

総務省

総務省は、統計から見た我が国の高齢者の現状について取りまとめを発表した。

I 高齢者の人口（人口推計2024年9月15日現在）

〇総人口が減少する中

で、65歳以上人口は3625万人と過去最多総人口に占める割合は29・3％と過去最高

〇日本の65歳以上人口の割合は、世界で最高（200の国・地域中）

〇65歳以上の就業者数は、20年連続で増加し914万人と過去最多

〇就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合は、13・5％

〇65歳以上の年齢階級別就業率は、いずれも過去最高に

〇日本の65歳以上の就業

率は、主要国の中でも高い水準

〇65歳以上の役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は、全ての年齢階級で前年に比べ上昇

〇「医療、福祉」の65歳以上の就業者は10年前の約2・4倍に増加

詳しい情報は「コチラ」

総務省「我が国の高齢者」

総務省「統計からみた我が国の高齢者―『敬老の日』にちなんで―」

（2024年9月24日掲載）

職場健診への

歯科健診の追加を検討

厚労省
検討会

9月20日、厚生労働省で「第7回労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」が開催され、職場を含むウイルス肝炎検査の追加、日本腎臓学会からの「血清クレアチニン値の追加」、日本歯科医師会から「歯科健診の追加」の追加、日本眼科医会から「眼底検査の追加」という要望が寄せられており、第7回検討会ではこれらのうち「歯科健診の追加」が議題となった。

職業が「会社員」の人の71・7％が「人生を振り返って、もっと早くから歯の健診・治療をしておけばよかったと思うか」という質問に「そう思う」と回答した。過去1年間に歯や口の問題のため仕事などの日常生活に支障を来したことが「よくある」が3・0％、「たまにある」が15・4％に上る。また、歯科疾患の治療の遅れによる健康や就労への影響として、歯周病は後期に至るまで無症状で進行するだけでなく、糖尿病、心筋梗塞（こうそく）、脳梗塞、慢性腎臓病などのリスクを高めること、残存歯数が少ないと転倒リスクが高くなるが義歯をきちんと使っていないばリスクが抑制されること、VDT作業（パソコン操作など）により顎関節症のリスクが増大することなどが挙げられるという。実際に顎関節症の有病率は企業従業員の方が地域住民よりも高いというデータがあり、さらに顎関節症と従業員の不安感や疲労持続

科医師による詳細な健診を行うことは現実的ではなく、簡易な検査とするのであれば誰がどのようなツールで行い、そのツールの精度管理はどうするのか、歯周病や顎関節症と診断した後に事後措置（就業制限など）をかけるのかといった点を明確にする必要性が浮かび上がった。

本検討会は2023年12月5日に第1回が開催され、これまで労働安全衛生法に基づく一般健康診断の現状と課題、検査項目、女性の健康に関する事項等について話し合いが重ねられてきた。

厚生労働省「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」

（2024年9月25日掲載）

詳しい情報は「コチラ」

厚生労働省「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」

（2024年9月25日掲載）

こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第20次報告）

9月12日、こども家庭庁は、「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第20次報告）」を公開した。

同サイトでは検証結果についての解説動画も公開している。

こども家庭庁「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第20次報告）」

（2024年9月18日掲載）

令和5年（2023）人口動態統計公表

人口動態統計公表

9月17日、令和5年（2023年）の人口動態統計（確定数）が公表された。

出生数は72万7288人で、前年より4万3471人減少し、過去最少157万6016人。

合計特殊出生率は、過去最低である1・20。死亡数は、過去最多の157万6016人。

厚生労働省「令和5年（2023）人口動態統計（確定数）の概況」

（2024年9月18日掲載）

自然増減数は、84万8728人減少し、過去最大の減少となった。

厚生労働省「令和5年（2023）人口動態統計（確定数）の概況」

（2024年9月18日掲載）

同氏はまず、日本歯科医師会が行っている「歯科医療に関する一般生活者意識調査」のデータを紹介。調査回答者のうち

紹介。調査回答者のうち

令和6年労働災害発生状況
(令和6年9月速報値)を公表生 省
厚 労 働

厚生労働省は令和6年1月1日から令和6年8月31日までに発生した労働災害について、令和6年9月9日までに報告があったものを集計し、公表した。

業種別では建設業、第三次産業、製造業の順となっている。

死亡災害の発生状況としては死亡者数が437人で前年同期比より9人増えて2・1%増加した。

業種別では建設業、第三次産業、製造業の順となっている。

厚生労働省「令和6年労働災害発生状況」9月速報値概要

厚生労働省「令和6年労働災害発生状況」9月速報値参考

10月18～24日は
「メノポーズ週間」日本女性
医学学会

一般社団法人日本女性医学学会は10月18日の「World Menopause Day（世界メノポーズデー）」にちなみ、10月18日から24日までの1週間を「メノポーズ週間」と定めている。

更年期女性およびその周囲の方々に更年期の症状や治療・ケアについて正しい知識、専門家への

厚生労働省「令和6年労働災害発生状況」9月速報値参考

令和5(2023)年受療行動調査(概数)の概況を公表

生 省
厚 労 働

厚生労働省は、「令和5(2023)年受療行動調査(概数)」の結果を公表した。

概要は以下の通り。

○自覚症状の有無、自覚症状はなかったが受診した理由、受診した理由(外来患者のみ)

・外来患者が、調査日現在に受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった際、「自覚症状

た」が上昇。

「自覚症状があった」

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

「自覚症状がなかった

厚生労働省「10月『年次有給休暇取得促進期間』です」

厚生労働省「10月『年次有給休暇取得促進期間』です」

厚生労働省「10月『年次有給休暇取得促進期間』です」

11月は
「過労死等防止啓発月間」

厚生労働省

厚生労働省は、11月を「過労死等防止啓発月間」と定めている。各都

厚生労働省は、11月を「過労死等防止啓発月間」と定めている。各都

厚生労働省は、11月を「過労死等防止啓発月間」と定めている。各都

10月は
「体力づくり強調月間」

スポーツ庁

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

毎年10月を「体力づくり強調月間」とし、本年は10月14日をスポーツの日として国民一般に健康・体力づくりを呼び掛けるなどの運動を展開し

日本人のための尿ナトリウム比の
目標値と適切な評価方法を提唱本 会
日 学

10月8日に日本高血圧学会は、日本人のための尿ナトリウム比の目標値と適切な評価方法を提唱する声明を発表した。

概要は以下の通り。

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

・尿ナトリウム／カリウム比(尿ナトリウム比)

の適切なつながりを促す活動を行う。

詳しい情報はコチラ

日本女性医学学会「2024年度『メノポーズ週間』」

厚生労働省「令和6年労働災害発生状況」9月速報値参考

「日本人の食事摂取基準
(2025年版)」策定検討会
報告書を公表

厚生労働省

10月11日、厚生労働省の基準を策定したもので「『日本人の食事摂取基準(2025年版)』」策定検討会」報告書を取りまとめ、公表した。

2025年版は、令和5年度までに得られた科学的知見に基づき、エネルギー・栄養素の摂取量

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書

WEB版もぜひご覧ください

記事・連載が充実!バックナンバーもご覧いただけます

- OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか
- ピル承認秘話－わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)－(北村邦夫著)
- YELL～エール～活躍する思春期保健相談士にインタビュー
- 海外情報クリップ

アクセスはコチラから



ほか

JFPA 一般社団法人 日本家族計画協会
JAPAN FAMILY PLANNING ASSOCIATION

Every Child a Wanted Child

家族と健康

Reproductive Health

2021年4月号より、「家族と健康」はWEB版になりました！

1954年創刊以来、毎月1回発行し、欠なく続く啓発広報誌としての役割は、形を変えても継続して参ります。

WEB版も毎月1日の発信ですが、月の途中にトピックスが飛び込んでくれば、迅速に皆さまにお知らせすることができます。スマートフォン対応も考慮されておりますので、いつでもお手元に機関紙を置いていただき、身近な媒体としてご利用いただけるのが新生WEB版「家族と健康」です。これまで同様ご愛読くださいますようお願いいたします！

インタビュー

YELL

～エール～

本会の活動は、同じ方向に向かう仲間
の存在によって支えられています。[YELL～エール[※]]は、そんな仲間を紹介する連載（不定期）です。当面はJFPA思春期保健相談士[®]（以下、相談士）の皆さんにご登壇いただきます。

※互いにエールを送り合うような関係でいたい、そんな思いを込めて連載タイトルをYELL（エール）としました。

第5回 市川 恭平さん

第5回目のゲストは市川恭平さん（愛知県名古屋市・名古屋市中区立大高南小学校 養護教諭／JFPA思春期保健相談士[®]）です。

——自己紹介・自己アピールをお願いできますか。

——自己紹介・自己アピールをお願いできますか。

全国約4万人の養護教諭（保健室の先生）のうち約100人しかいない男性の養護教諭です。全国の有志による団体「男性養護教諭友の会」の会長を務めています。東山書房より「男性養護教諭」を上梓し、理解の輪を広げる取り組みをしています。日ごろ学校では、保健室で子どもたちの心身の健康を守り育みながら、セクシュアリティ



今月の人 市川 恭平（いちかわ・きょうへい）

1986年、愛知県生まれ。愛知教育大学教育学部養護教諭養成課程卒業後、2010年、名古屋市立西養護学校養護教諭（名古屋市教育委員会初の男性養護教諭）として正式採用される。その後、市立下志段味小学校養護教諭などを経て、22年より市立大高南小学校養護教諭。現在に至る。日本養護教諭教育学会、日本学校教育相談学会等に所属。男性養護教諭友の会会長。主な共著に『男性養護教諭』（東山書房）、『男性養護教諭がいる学校』（かもがわ出版）など。

養護教諭に話にくいとかありませんでしたか？

「最初は驚きましたけど、話しやすいし、やっぱり『保健室の先生』だから今は全く気になれません。保健の授業でいろいろ教えてくれるので、生理の相談も私ほですき、自身の力不足を事あるごとに感じていました。そんな中、特別支援学校での性教育に力を注がれている先輩の養護教諭

——相談士になるう（も）しくは思春期保健セミナーを受講しよう）と思われたきっかけをお聞きしてもよろしいですか。

知的障害特別支援学校に勤務していた頃に、子どもたちが抱える性に関する課題の大きさに気が付き、自身の力不足を事あるごとに感じていました。そんな中、特別支援学校での性教育に力を注がれている先輩の養護教諭

周りの大人が想像している以上に、私は「養護教諭」なんだと思います。困ったことはいろいろありますが、その都度目の前の子どもたちや保護者の方、同僚や上司と話し合っ

——いつ思春期保健相談士を取得されましたか（相談士歴何年？）。

2016年1月に認定いただいたので、相談士歴は8年（9年目）になりました。

——相談士になるう（も）しくは思春期保健セミナーを受講しよう）と思われたきっかけをお聞きしてもよろしいですか。

知的障害特別支援学校に勤務していた頃に、子どもたちが抱える性に関する課題の大きさに気が付き、自身の力不足を事あるごとに感じていました。そんな中、特別支援学校での性教育に力を注がれている先輩の養護教諭

第6回 幸崎 若菜さん

第6回目のゲストは幸崎若菜さん（東京都・助産師／JFPA思春期相談士[®]）です。この4月に「子ども・若者のための街の保健室」として開設されたユースウェルネスKuKuNa（ククナ）（東京都江戸川区）で室長をされています。

——自己紹介・自己アピールをお願いできますか。

——自己紹介・自己アピールをお願いできますか。

——自己紹介・自己アピールをお願いできますか。

には深い理解が必要です。この点、思春期保健セミナーで学んだことの中に、この課題に直結した内容は多く、より理解を深めながら、より積極的に実践を積み重ねることができているように感じています。また、子どもたちが将来、各ライフステージにおいてセクシュアリティについてどのような問題を抱えやすいのかについても学んだので、未然に防ぐ学習を、保健教育の枠組みの中でいかに進めていけるか考

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

——取得して資格を生かしている場面を紹介していただけますか。資格保持って良かったことな

わる研修の講師として各地にお招きいただくことも多いので、実践をお聴きくださる方にも応用可能な形で伝えるように心掛けています。そのような機会に、思春期保健相談士の仲間が増えたり、仲が深まったりすること

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

——相談士としてのこれから活動予定や、希望をお聞かせください。

部その他職種の方との連携を視野に今後も丁寧な対応を心掛けていきたいと考えています。求めがあれば全国どこへでも研修講師として伺います！

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。

——相談士を目指す方へのメッセージをお願いします。



今月の人 幸崎 若菜（こうさき・わかな）

2004年3月、岡山大学医学部保健学科看護学専攻にて助産師免許取得後、都内病院勤務を経て、05年8月医療法人社団向日葵まつしま病院入職。11年1月思春期保健相談士の資格取得後、まつしま病院での勤務の傍ら、日本家族計画協会にて思春期相談に従事。同年2月に性暴力被害者支援看護職（SANE）取得。18年4月から2年間高知県立大学看護学部助教として勤務後、20年4月にまつしま病院に復帰。24年2月、まつしま病院ユースウェルネスKuKuNa室長に就任。

本人への負担が大きいことだと思っています。また、思春期に何か問題や悩みがあっても、学校が介入していない場合や、親が十分に関わって

困ったときには医療機関を頼ってもよいと思いますが、思春期の子たちにとっては病院に（く）



Every Child a Wanted Child

JFPA 一般社団法人 日本家族計画協会



施設内の様子



本棚には子どもが読める本と大人向けの
本をあえて混ぜて置いている



くつろげるようマットを敷いたスペース

あります(地域の行事と被ると急に減りますが、親と一緒にくる子どももいますし、支援者の見学も受け入れているので、興味を持った方が来たりすることもあります。500円で30分の相談ができるワンコイン相談をやっているのですが、それにはすでに何人か来しました。相談者の特徴としては、当日キャンセルが割と多い傾向にあります。親が息まいて予約を取ったけれど、本人が直前になって行きたくないと言ったり…というのは、この業界であるあるだと思っています。相談内容は、500円に対応するレベルのものではないといった状況です。当初、この相談窓口にはロースクが寄せられることを想定していましたが、例えば、知識を知りたいとか、ちょっと悩んでいることをどうすればいいか教えてほしいとかといったことです。でも、相談者からしてみたら、そんな内容に収まるわけは全然なくて、不登校で学校に行き渋っていることに悩む親子だったり、障害を持っていて地域の支援者に相談していたけれど、性に関する悩みには支援者がうまく踏み込めなくて相談先に迷っているカップルだったり、そのほかにも当院受診中の女性で医師が丁寧に指導した方がいいと判断して予約を取ることもあります。

私たちとして、ワンコイン相談を繰り返し受け付けていくよりも、一回来てもらった上で、話を伺い、情報提供だけでよいのか、医療が必要か、当院で対応できるか、他機関への紹介が必要かを判断することが役目だと思っています。

ここに相談に来る方から聞かれるのは、実は性的なことよりも、メンタル面の話題が多い傾向にあります。学校へのいきし

ユースウェルネス KuKuNaとは

思春期前後の子ども・若者が、悩みや不安を相談できる場所として、2024年4月に開設された。コンセプトは「子ども・若者のための街の保健室」。性と生殖に関する健康・権利(Sexual Reproductive Health and Rights)に関することをはじめ、さまざまな悩みや相談に対応している。また、個別思春期相談、保護者や支援者向けの教育活動なども行っている。KuKuNaとは、ハワイの言葉で「ひだまり」を意味する。

構想から短期間で開設に至ったと伺いました。苦勞されたことなどはありましたか？

それまでは現場のことが精一杯だったところに、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす



“ちょっとモダンでスタイリッシュな感じ”の相談室



“ちょっとかわいらしい雰囲気”の相談室

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

に、小児科医である理事長が長年診察していた子がKuKuNaで過ごす

職域保健の現場から

株式会社コーセー ライフ&ウェルネス サポートセンター (保健師) 山口 仁美

会社紹介

2024年1月に株式会社コーセーと株式会社

アルビオンは新しい健康管理体制を始動し、ライフ&ウェルネスサポートセンター ウェルネス推進室を設立しました。まだ新体制が立ち上がったばかりですので、今回は私が入社以来、健康管理支援に携わってきた株式会社アルビオンの取り組みをご紹介します。

健康管理体制は、従来の産業保健看護職、全国各地の分散事業所を担当する産業医、有事に備える感染症規定や転倒防止などに関するアドバイザー医師の他、今年度からはカウンセラーとの契約も導入しました。さらに、弊社女性社員に頻出する痩せや貧血といった健康課題への対策として、対象者との個別面談における看護職の知識拡充のため、管理栄養士から講義を受けることも検討して

います。より一層チーム全体で協力し、健康管理体制の構築と拡充に取り組んでいます。

近年、男女ともに就業率が上昇していますが、特に女性の就業率は顕著に増加しています。年齢階級別の女性の就業率についても、従来のM字カーブの傾向から変化し、近年はカーブの底が大幅に上昇し、くぼみが浅くなるとともに、全体的に大きく上方にシフトしています。以上のような背景から、働きながら女性

特有のライフステージに伴う身体や心、生活の変化による課題と就労との両立を求められる女性が増えてきたことが予想されます。国全体でも女性が活躍し、健やかで充実した毎日を送り、安心して安全に働けることが2023年の「女性版骨太の方針」で掲げられています。弊社では約3300名の職員のうち、女性が8割以上を占め、多くの働く女性に支えられています。私自身も産業保健師として、重点を置いて取り組んでいきたい課題のひとつと感じています。

女性の健康支援に関する2018年に日本医療政策機構(JGPI)が発表した「働く女性の健康増進に関する実態調査」になぞらえて、昨年度、弊社でも男女全職員を対象に「女性の健康管理に関するアンケート」を実施しました。また今年度からは、新入社員(中途採用含む)の販売職員向けに健康状態や健康意識に関するアンケートを作成し、随時集計を行っています。アンケート内容は「月経トラブルとその対処方法」「婦人科検診実施状況」「生活習慣」などについて十数問の質問を設けました。集計結果はまだ微々たる件数ですが、継続的な集計から、弊社における女性の健康課題は何か、どういったアプローチが必要か、少しずつ実態がつかめてくることを期待しています。

さらに、当事者である女性への支援だけでなく、共に働く男性職員への支援にも注力しています。前述した「女性の健康管理に関するアンケート」の結果から、弊社の男性職員の9割以上が、女性の健康に関する研修などを受けたことがないことが判明しました。この結果を受け、女性特有の疾患(月経前症候群、更年期、子宮頸がん、乳がん)を

本連載では職域保健の現場で活躍されている方にさまざまな取り組みをご寄稿いただいています。今回は株式会社コーセー ライフ&ウェルネスサポートセンター ウェルネス推進室産業保健師の山口仁美さんに、同社での健康管理支援体制や、女性社員の健康課題への対策、雇入れ健診時の対応などについてご紹介いただきます。

(編集部)

(株)コーセーにおける女性の健康支援に関する取り組み

女性の健康支援に関する弊社での取り組み

2018年に日本医療政策機構(JGPI)が発表した「働く女性の健康増進に関する実態調査」になぞらえて、昨年度、弊社でも男女全職員を対象に「女性の健康管理に関するアンケート」を実施しました。また今年度からは、新入社員(中途採用含む)の販売職員向けに健康状態や健康意識に関するアンケートを作成し、随時集計を行っています。アンケート内容は「月経トラブルとその対処方法」「婦人科検診実施状況」「生活習慣」などについて十数問の質問を設けました。集計結果はまだ微々たる件数ですが、継続的な集計から、弊社における女性の健康課題は何か、どういったアプローチが必要か、少しずつ実態がつかめてくることを期待しています。

さらに、当事者である女性への支援だけでなく、共に働く男性職員への支援にも注力しています。前述した「女性の健康管理に関するアンケート」の結果から、弊社の男性職員の9割以上が、女性の健康に関する研修などを受けたことがないことが判明しました。この結果を受け、女性特有の疾患(月経前症候群、更年期、子宮頸がん、乳がん)を

に、職員がより健康で、安心した労働生活が長く続けられるよう、アンテナを高く張りながら、常に課題を見極め、求められる支援を検討し実践していきたいです。「女性の健康支援」ではありますが、これまで以上に男女問わず会社全体として学ぶ機会や考える場が重要になってくると感じています。

私自身も専門職として自己研鑽を怠らず、変化する社会の動向や最新の情報をキャッチしながら、一人でも多くの労働者が安全・安心な労働環境で長く働けるように努めていきたいです。

◆ ◆ ◆

(11面の続き)

はありますが、その中でも、子どものケースを見ると、医療の視点が驚くほどに欠けているところがあります。

子どもの不登校の問題には、メンタルに関連したこともありますし、家族関係の要素によることもあります。中には、親の精神疾患が関わっていることもあったりします。でも、医療の視点がないと、そのような親の精神疾患の問題に気が付かなかったり、過小評価してしまったりすることにつながることもあります。子どもには十分に目が向いてしまっているの

で、家族にどうアプローチしていくかという視点で、多職種でもっと連携していくことが必要だと感じています。複雑かつ深刻な子どもの話を聞く中で、最近、日増しにその思いが強くなっています。

—— 学校で子どもたちに向き合っている方々からも相談を受けることなどはありますか？

時々お話にいらっしゃいます。思っていたよりも、養護教諭、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーがかなり困難なケースを抱えている、というのを感じています。特に、性の相談に関するスキルがないと、どんなアプローチができるのか、どう説明していくか分からないというところもある印象です。専門職としての経験が少なくても立ち回れない方もいるかと思えますので、そういった場合は、専門職の方々にも、まずこのK u k u n aを活用して連携していただく、と思っています。

—— 視点を広げていくことは何となく必要になりますよね。会社全体へのアプローチも求められていきますよね。

そうですね。大人への教育をして社会全体を変えていくという意味では、例えば、一般企業に出向いて行って、子どもの健康や、自分たちの心の健康といった視点で話すこともできるのでは、と考えています。

いまや保護者向けだけではなく、性に関する課題にみんな向き合わなければならないわけですから、一般企業などにもその領域の活動に目を向けてほしいというのを伝えていくのはよいことだと思います。

当院は、産婦人科、婦人科、小児科などが中心ですので、妊娠の問題、子育ての問題、女性のキャリアをどう構築していくかなど、企業と一

緒を考えていきたいと思っています。

—— これからの課題などありますか？

いま、本当に困っているのは「スタッフをどう育てるか」という点です。特に、思っていた以上に多いメンタルの相談に対応するためのスキルを高めることが必要だと感じています。

当院での思春期外来は、セルフ診療にしています。が、あくまで相談であって治療ではありません。今抱えていることをどんな風に整理してどこにつなげるか、親がどう向き合えばよいか、生活の中でどんなことを変えていくか、などはこちらで

助言できますが、スタッフとその経験とスキルをどうやって学んでいくかというのは今後も考えていくことが重要です。また、橋渡しをする専門機関・関連機関がまだ少ないので、これも課題です。

幸い、当院には公認心理師や心療内科医もいるので、そちらに相談したりスーパーバイズを受けたりしながら、理解を深めようとしています。

—— 思春期保健相談士の資格は、いつ取りましたか？

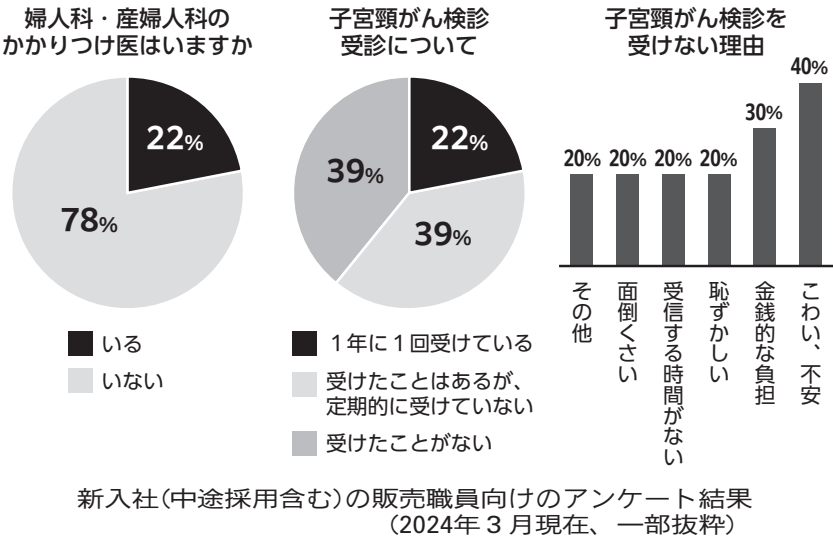
取得したのは2010年くらいです。取得前から思春期のこともやらな

いといけないと思っていますので、当時はとても勉強になりました。今は状況もかなり変わってきているようなので、また時期を見て、ブラッシュアップをしなければと思っています。

思春期保健相談士は資格取得よりも、その先が大事だと思っています。自分で考えて、資格を生かして、自分で主張して活躍すべき場をつくるというところ、今、まさにやっているところです。

—— 思春期保健相談士や、専門職の方々に向けて、メッセージをお願いします。

皆さんも、自分の信念を大事にして、ぜひつながりを広げてください。(2024年9月6日掲載)



職域保健の現場から

59

富士通株式会社 健康推進統括部健康支援室 筒井 久美子

高年労働者の健康管理・健康支援

本連載では職域保健の現場で活躍している方にさまざまな取り組みをご寄稿いただいています。今回は富士通株式会社 健康推進統括部健康支援室の筒井久美子さんに、同社での高年労働者の健康管理や健康支援などについてご紹介いただきます。

(編集部)

健師、産業医、カウンセラーがあり、約5600人の社員を担当しています。保健師は、健診事後措置や特定保健指導はもちろん、過重労働対策やメンタル不調者への支援なども行い、社員が安心して健康的に働き、一人一人が良好な業務パフォーマンスを発揮できるよう、産業保健看護専門職の立場で組織・職場・個人を支援しています。

高年労働者について

リスクの増加、筋力の低下などの課題も明らかになってきました。

少子高齢化社会において企業では65歳までの雇用機会が確保され、弊社でも雇用を延長して働く60歳以上の社員が年々増えています。加齢に伴い健康診断結果における有所見率は高くなり、労働災害では通勤途上の転倒による受傷が増えています。高年労働者に対して、健診事後措置では重症化予防の保健指導や治療と仕事の両立支援などの個別対応を丁寧に行っています。また高齢化に伴って在宅勤務の定着化による筋力低下を懸念し、運動の習慣付けやロコモティブシンドローム対策への取り組みを行っています。

健康イベントでロコモ度テストを行い、高年労働者を中心にロコモティブシンドロームの知識普及と筋力低下予防のための取り組みを行っています。測定した社員にアンケートを実施すると「自分が思ったより立てなかった」という感想が多く、測定が筋力低下を実感する機会になっていることが分かりました。その結果を踏まえて保健指導を行うと、口頭のみの方よりも運動習慣への意識付けや行動変容に効果的であると感じています。数年前からは、来室した社員がいつでもロコモ度測定をできるように、立ち上がりテスト用ボックスなどを常設しており、希望者には経年比較などもしています。身体の変化を見える化することで、継続的に運動習慣の維

持や改善への動機付けが行えています。その取り組みの中で、握力が筋力の評価の参考になることが分かり、最近は握力計の活用も始まりました。高年労働者だけでなく若い社員にもロコモ度テストや握力測定を実施し、将来に向けた瘦せれば良いのではなく、若い頃から意識して身体活動を行う筋力をつけ維持するよう指導しています。

産業保健師として関わる思い
産業保健師になる前、看護師や大学の助手として働いていた頃、難治性疾患を抱えながら懸命に

会社と組織紹介
富士通は世界をリードするDXパートナーとして、信頼できるテクノロジー・サービス、ソリューション、製品を幅広く提供し、お客様のDX実現を支援しています。「社員の心とからだの健康と安全を守り、すべての社員が心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境をつくりだす」とをグローバル共通の重要な課題として健康経営活動に取り組み、「健康経営優良法人」ホワイティ500」に8年連続で認定されています。

国内では約7万人の社員がいますが、健康支援室配下の約130名の看護職がその全員の健康を支援しています。私が担当している事業所には保

治療やリハビリを受ける患者さんや家族をたくさん見てきました。健康に働く社員には、自分の健康は自分で積み上げて作っていくものであり「予防できる病気にはならない」と、今、生活習慣を少し変えることの大事さを伝え、将来の生活習慣病を自身で予防できる行動がとれるように保健指導を行っています。産業保健師として、生活習慣病予防の段階で社員に関わることができ、社員が年を重ねても希望通り生涯活躍できたり、退職後も自立して生活を楽しめたりできるように、今後も楽しく効果のある保健指導を行ってきたいと考えています。

(2024年9月1日掲載)

テレワーク率が高くなるほど、1日8,000歩以上歩く社員の割合は低下している

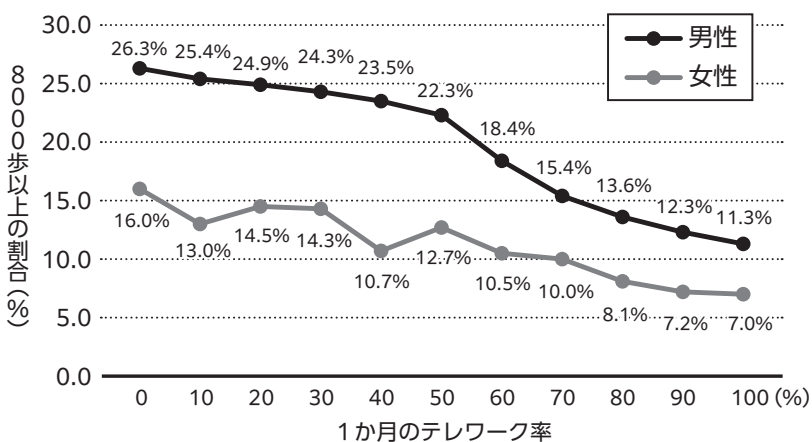


図1 テレワーク割合と平均歩数8,000歩以上の割合

お知らせ

「これさえ見れば基本はOK!!」な講義動画集ができました。

その名も…

リプロバ

“リプロ”ダクティブ・ヘルス/ライツについて学べる“場” 略して「リプロバ」です

配信中の講義 (11月20日現在)

講義名	講師
妊娠の経過	重松 環奈 先生 日本赤十字社医療センター 日本助産師会
医療費・出産費用について	安宅 満美子 先生 日本助産師会
粉ミルクについて	市川 恵子 先生 めぐみ助産院
乳腺炎や起こりやすいトラブル	稲田 千晴 先生 日本赤十字大学大学院 国際保健助産学専攻 講師
母子健康手帳を有効活用するために(前編・後編)	市川 香織 先生 東京情報大学看護学部看護学科 教授

無料公開
です

- 1本10分程度の講義動画集
- インターネット上でいつでも、どこでも、何度でも視聴可能
- 新人研修にピッタリの内容
- ベテランの方の学び直しにも



視聴は本会HPから

※本会セミナー会員登録が必要となります
※無料公開しています。ただし、視聴の際の通信料等はご負担ください



はたがや びより 日和

～JFPA相談室へようこそ～

暖かい日が差し込む相談室では、今日も相談員さんが電話やLINEに届く悩みに真摯に向き合っています。機関紙では、相談を受けながら日頃感じること、考えることを思い思いに、毎月書き連ねていただいています。相談員の年齢や経験、経歴が違うからこそ、互いに刺激になっているのが、JFPA相談室の特長の一つ。このリレーエッセーからもその様子が感じられるのではないのでしょうか。事例紹介に留まらない「はたがや日和」から目が離せません！

思春期・FPP相談LINE／避妊のための
ピル&アフターピル相談室 相談員

松原 由佳
(2024年4月1日掲載)

私は相談員の業務に従事して約1年、相談員の中で一番の新人です。ですが実は、クリニックとはもう少し古いお付き合いがあります。10数年前に看護大学最後の総合実習として、本会で電話相談の見学実習をさせていただいたことがあるのです。学生時代はピルカウンセラーとして、茨城県内のあちこちの中学校や高校で性教育を行ったり、JFPAが支援する若者委員会「U-COM(ユーコム)」と都内でコンドーム配布をしたりしていた私の性教育人生の幕開けの頃です。実習の際、男の子からの電話相談に真摯に、そして優しく答える相談員さんの姿がとても心に残っています。

その後、看護師として婦人科の勤務や子育て中

「やりたい」を声に出すことの大切さを痛感し



に市民活動などをしながら10数年を過ごし、本会の相談員勤務につながったきっかけは、SRHセミナーでたまたま現役相談員さんのお隣に座って声を掛けていただいたた

こと。まさかあの憧れた相談員になれるとは！大阪からの転居直後で職探し中だった私にとって運命的な出会いでした。この1年の間に、日本思春期学会にてLINE相談の特徴を演題発表する大役や、市谷クリニックの閉院直前に北村先生の思春期外来の診療介助も、新米にも関わらずちゃっかりと経験させて

いただき、

ております。そしていつも温かく応援、ご指導を下さる北村先生、相談員の先輩方や杉村センター

「自慰をしているせいで初経がこないのか？」という相談には、何故そう考えたのかと頭の中が？マークの大作進でした。

特に気になるのが、男女とも射精・排卵・月経・妊娠の成立についてある具体的な情報にも思

この3月に初めてJFPAの相談員になってから、かれこれ10年以上にわたり思春期相談とOCCの相談を受けています。病院勤務の助産師としての経験で多い多くの気付き・学びを与えてもらえますし、その経験が本業でも生かされるとスメント、性の悩みに関する相談先の紹介、妊娠

この3月に初めてJFPAの相談員の肩書きで性教育講演に行きました。高校1・2年生の生徒さんが対象で、学校から依頼されたテーマは「性的同意、デートDV、パーソナルスペース、セクシュアル・ハラ

私は、性暴力被害者支援看護職(SANE)の資格を持っているので、病院で性暴力被害者の対応を実践してきた経験をなのにそこを取り上げな

た。生徒さんと一緒に社会が抱える無意識の思い込みについて考えるという狙いも織り込んで、学校からの提案にはなかったアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についても触れることにしました。学校の特性から300人を超える生徒の97%は男性で、日頃女性だけの職場で働き、仕事で接する対象もほぼ女性であるという環境が大きいと思うので、男性の被害者へけるというメッセージがあるという自負があったのかもしれない。

講演後に届いたアンケートに「女性目線の意見が多く、男性が悪いと感じるような表現が数点あり、男女平等とは反している。最近では、男性側の被害も増えているはずなのでそこを取り上げな

た。生徒さんと一緒に社会が抱える無意識の思い込みについて考えるという狙いも織り込んで、学校からの提案にはなかったアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についても触れることにしました。学校の特性から300人を超える生徒の97%は男性で、日頃女性だけの職場で働き、仕事で接する対象もほぼ女性であるという環境が大きいと思うので、男性の被害者へけるというメッセージがあるという自負があったのかもしれない。

内容が目立ちます。「自慰をしているせいで初経がこないのか？」という相談には、何故そう考えたのかと頭の中が？マークの大作進でした。

特に気になるのが、男女とも射精・排卵・月経・妊娠の成立についてある具体的な情報にも思

この3月に初めてJFPAの相談員になってから、かれこれ10年以上にわたり思春期相談とOCCの相談を受けています。病院勤務の助産師としての経験で多い多くの気付き・学びを与えてもらえますし、その経験が本業でも生かされるとスメント、性の悩みに関する相談先の紹介、妊娠

この3月に初めてJFPAの相談員の肩書きで性教育講演に行きました。高校1・2年生の生徒さんが対象で、学校から依頼されたテーマは「性的同意、デートDV、パーソナルスペース、セクシュアル・ハラ

私は、性暴力被害者支援看護職(SANE)の資格を持っているので、病院で性暴力被害者の対応を実践してきた経験をなのにそこを取り上げな

この3月に初めてJFPAの相談員になってから、かれこれ10年以上にわたり思春期相談とOCCの相談を受けています。病院勤務の助産師としての経験で多い多くの気付き・学びを与えてもらえますし、その経験が本業でも生かされるとスメント、性の悩みに関する相談先の紹介、妊娠

この3月に初めてJFPAの相談員の肩書きで性教育講演に行きました。高校1・2年生の生徒さんが対象で、学校から依頼されたテーマは「性的同意、デートDV、パーソナルスペース、セクシュアル・ハラ

私は、性暴力被害者支援看護職(SANE)の資格を持っているので、病院で性暴力被害者の対応を実践してきた経験をなのにそこを取り上げな

た。生徒さんと一緒に社会が抱える無意識の思い込みについて考えるという狙いも織り込んで、学校からの提案にはなかったアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)についても触れることにしました。学校の特性から300人を超える生徒の97%は男性で、日頃女性だけの職場で働き、仕事で接する対象もほぼ女性であるという環境が大きいと思うので、男性の被害者へけるというメッセージがあるという自負があったのかもしれない。

東京都不妊・不育ホットライン相談員

小島 章子
(2024年5月1日掲載)

不妊の話題がメディアで取り上げられたり、SNSで経験談などを発信する人が増えたりした今、不妊治療について多くの情報を得られるようになりまし

クリニックでもさまざまなデータを本人に伝えるのが珍しくなくなり、受精卵のグレードや血液検査の数値などの意味を自身で調べる方が増え

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

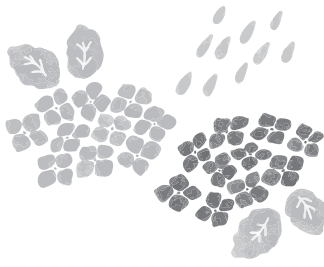
「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい

「いきなり体外受精は希望しない」「しかしもし体外受精をするなら40歳になる前に保険で受けられる回数を受けたい」「仕事と両立できるようにしたい



くはならない心に響く声でした。

包括的性教育という言葉をよく耳にするようになっていますが、まだ日本での性教育は体系化できておらず、一期一会であることが多くなっています。

私もせっかくの機会だからと講演の内容を詰め込み過ぎてしまう傾向があり、本当に子どもが知りたい情報を届けられているのかと感じることもあります。他者の性教育の現場を見る機会もなかなか得られないまま個々に模索しているのが現状です。

先日、「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」(ユネスコ・編)の翻訳を読み返しながら、私自身がここに書かれている知識・態度・スキルを獲得できているのかを改めて考えさせられました。性教育実践をする立場である私たち大人が、まずは包括的性教育について学び、日本での実現に向けて何をすべきかを考えて行動しなければならぬと生徒さんに気付かせてもらう貴重な体験になりました。



くはならない心に響く声でした。

思春期・F P相談LINE／避妊のための
ピル&アフターピル相談室相談員

中尾 光子

(2024年7月1日掲載)

本会には「思春期・F P相談LINE」と「避妊のためのピル・アフターピル相談室」「東京都こころ相談室」

緊急避妊の相談は、最終月経や避妊ができなかった性交の時間や、相談者への確認事項、緊急避妊薬を入手するためのアクセス方法など、説明する内容が共通している部分が比較的多いので、ワ

このたび縁あって、東京都の研修会で「緊急避妊の相談」についてお話を書き出してメモを作りました。要点を整理し、仲間のアドバイスも得ながら、日頃のやりとりを生

東京都不妊・不育ホットライン相談員

小林 美貴

(2024年8月1日掲載)

不妊治療はストレスを感じることが多い治療です。東京都不妊・不育ホットラインにお電話をいただく中でも「気持ち

私は専門家ではありません。最近いただいた電話で同様に悩んでいたところ「ペットが心の支えで癒やします」という方

説原稿を作りました。

緊急避妊は日々相談を受けている私たちや、きちんと情報を得る機会があつた人にとっては当

緊急避妊の相談は、最終月経や避妊ができなかった性交の時間や、相談者への確認事項、緊急避妊薬を入手するためのア

また、多くの緊急避妊の相談で聞かれるのは、妊娠の確率と緊急避妊が必要かどうかです。「妊

「今はペットが飼えないので動物の動画を見ると癒やされます」とおっしゃる方がいて、わが家にも愛猫がいるので動物の話題で盛り上がるこ

前者の方は「ペットが来る前のメンタルはもつとひどくて、本当に鬱み

後者の方は「今は動画を見るのですが、いつか保護された子を飼いたいです」とおっしゃり、

性暴力被害に対する支援の必要性はないか、相手の男性と対等なコミュニ

かを判断することは、緊急避妊の相談に限らず大事な点です。しかし、相談している女性自身が被害者であることを認識し

また、多くの緊急避妊の相談で聞かれるのは、妊娠の確率と緊急避妊が必要かどうかです。「妊

「今はペットが飼えないので動物の動画を見ると癒やされます」とおっしゃる方がいて、わが家にも愛猫がいるので動物の話題で盛り上がるこ

前者の方は「ペットが来る前のメンタルはもつとひどくて、本当に鬱み

後者の方は「今は動画を見るのですが、いつか保護された子を飼いたいです」とおっしゃり、

「今」解決はしないけれ

す。同じ心配を繰り返さないなど、相談室に関わることが、相談者のS R

避妊を男性任せにするこのリスクを知って、女性が主体的に避妊して自身を守るこの大切さを伝え、そして相談して

最後に、今回の研修のチャンスを下さった東京都、そして準備を支えてくれた相談員にこの場をお借りして感謝申し上げます。

たのではないでしょう。動物が苦手な方や事情や信条がある方もいらっしゃるので「ペットを飼ったほうがいい」と勧めたいわけではありませ

「むしろ」子どもの代わりで「かわいそう」とか「痛い」などと言われることもあります。現実には暗かった声

お二人とも、不妊治療がうまくいかないという現実が変わっていませんが、好きなもの、夢中になれるものを口にするうちに、最初は暗かった声

「今」解決はしないけれ

思春期・F P相談LINE／避妊のための
ピル&アフターピル相談室相談員

来田 美鈴

(2024年9月1日掲載)

HPVワクチンのキャッチアップ接種が来年3月で終了する。3回の接種を全て公費負担で受けることも多く、いよいよ

つい先日の相談は、対象年齢に該当するご本人からだった。彼女は、情報を知っていたが母親が

「もう、またいつか元の自分らしい自分に戻る時のための強い味方。そう思

動物が苦手な方や事情や信条がある方もいらっしゃるので「ペットを飼ったほうがいい」と勧めたいわけではありませ

「むしろ」子どもの代わりで「かわいそう」とか「痛い」などと言われることもあります。現実には暗かった声

「今」解決はしないけれ

022年に積極的推奨が再開されたとはいえ、その接種率はまだまだ低

私は、J F P A相談員の他に、地域で「こども食堂」の活動をしてい

無料で行っているが、そのほとんどが女性と子どもだ。戦火から逃れ、必死の思いで日本にや

「もう、またいつか元の自分らしい自分に戻る時のための強い味方。そう思

動物が苦手な方や事情や信条がある方もいらっしゃるので「ペットを飼ったほうがいい」と勧めたいわけではありませ

「むしろ」子どもの代わりで「かわいそう」とか「痛い」などと言われることもあります。現実には暗かった声

「今」解決はしないけれ

変な経験と、言葉も文化も違う環境での生活に、体調の不安や月経などに

私は、J F P A相談員の他に、地域で「こども食堂」の活動をしてい

無料で行っているが、そのほとんどが女性と子どもだ。戦火から逃れ、必死の思いで日本にや

「もう、またいつか元の自分らしい自分に戻る時のための強い味方。そう思

動物が苦手な方や事情や信条がある方もいらっしゃるので「ペットを飼ったほうがいい」と勧めたいわけではありませ

「むしろ」子どもの代わりで「かわいそう」とか「痛い」などと言われることもあります。現実には暗かった声

「今」解決はしないけれ

できることを伝えると、彼女はとても安心した様子を見た。日本では、

海外の方と接することを感じた違和感をそのままにせず、私は改めて、HPVワクチンの正しい

海外の方と接することを感じた違和感をそのままにせず、私は改めて、HPVワクチンの正しい

「もう、またいつか元の自分らしい自分に戻る時のための強い味方。そう思

動物が苦手な方や事情や信条がある方もいらっしゃるので「ペットを飼ったほうがいい」と勧めたいわけではありませ

「むしろ」子どもの代わりで「かわいそう」とか「痛い」などと言われることもあります。現実には暗かった声

「今」解決はしないけれ

できることを伝えると、彼女はとても安心した様子を見た。日本では、

海外の方と接することを感じた違和感をそのままにせず、私は改めて、HPVワクチンの正しい

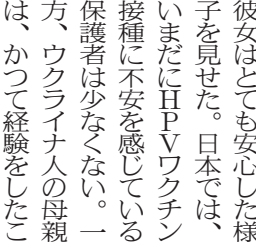
海外の方と接することを感じた違和感をそのままにせず、私は改めて、HPVワクチンの正しい

「もう、またいつか元の自分らしい自分に戻る時のための強い味方。そう思

動物が苦手な方や事情や信条がある方もいらっしゃるので「ペットを飼ったほうがいい」と勧めたいわけではありませ

「むしろ」子どもの代わりで「かわいそう」とか「痛い」などと言われることもあります。現実には暗かった声

「今」解決はしないけれ





健やか親子21

令和6年度 健やか親子21全国大会 (母子保健家族計画全国大会) 被表彰者

令和6年度母子保健・家族計画功労者の表彰式が11月21日（木）鹿児島県鹿児島市の
宝山ホールで開催されます。

本会会長表彰、および健やか親子21内閣府特命担当大臣表彰の被表彰者は次の通りです。

一般社団法人日本家族計画協会会長表彰

【個人】

青森県 真鍋 麻美
岩手県 遊田 由希子
秋田県 谷口 久美子
茨城県 荒井 幸子
栃木県 鈴木 悦子
群馬県 石坂 泰子
千葉県 小林 宏伸
神奈川県 山田 舞
富山県 八十島 邦昭

石川県 中川 郷子
福井県 吉田 美里
長野県 柳沢 明子
静岡県 伊藤 和代
愛知県 青木 豊和
滋賀県 内藤 紀代子
大阪府 中西 伸子
島根県 曾田 順子
岡山県 高橋 澄子
山口県 中村 成美

徳島県 藤原 恭子
香川県 竹内 美由紀
愛媛県 船上 裕子
高知県 滝川 稚也
長崎県 石丸 至子
鹿児島県 川畑 由佳子
沖縄県 大城 洋子
千葉県 安西 範子
横浜市 兵頭 めぐみ
川崎市 丹羽 純子

浜松市 木下 光代
名古屋 石川 真奈美
神戸市 大原 亜由美
広島市 永田 忠
横須賀市 河島 夏美
久留米市 田中 佳代
大分市 工藤 直美
本部推薦 金子 法子
本部推薦 黒木 富士子
本部推薦 松本 俊彦

【団体】

本部推薦 谷口 久枝
本部推薦 山田 孝之
本部推薦 杉村 由香理
本部推薦 鈴木 隆雄
本部推薦
点字印刷出版雑草の会
本部推薦
株式会社PIJIN
(43人2団体)

健やか親子21内閣府特命担当大臣表彰

●功労者表彰

【個人】

青森県 田中 誠也
岩手県 坂川 真美
岩手県 西里 真澄
宮城県 瀬戸 琴子
宮城県 齊藤 幸子
秋田県 清水 昱子
栃木県 星野 典子
群馬県 佐藤 泉
群馬県 島田 百合子
埼玉県 佐藤 達也
埼玉県 櫻井 裕子
千葉県 櫻井 美代子
千葉県 松本 弘
神奈川県 藤野 宣之

神奈川県 石川 良枝
石川県 打出 喜義
福井県 田中 靖子
長野県 小林 由枝
岐阜県 紺田 応子
静岡県 見須 直子
愛知県 岡田 英幹
愛知県 花田 直樹
三重県 羽根 靖之
滋賀県 岡本 美佐江
京都府 桑原 仁美
兵庫県 郷原 寛子
兵庫県 沼田 朋子
岡山県 平田 国子
広島県 渡辺 芳美
岡山県 岡昌 進

広島県 杉野 禮俊
山口県 前田 典代
山口県 百衣 万里子
愛媛県 原田 恵美
福岡県 井上 功
福岡県 横地 一興
熊本県 佐藤 美由紀
大分県 吉田 くに子
宮崎県 興梠 知子
鹿児島県 境田 通泰
鹿児島県 岩佐 いく子
沖縄県 屋良 朝雄
沖縄県 徳山 千登世
日本家族計画協会 鈴木 利人

●健やか親子表彰

【自治体・団体・企業】

日本家族計画協会 齋藤 美貴
母子愛育会 仙田 昌義
母子保健推進会議 服部 律子
母子保健推進会議 羽根 司人
岡山県 矢掛町愛育委員会
母子愛育会
豊後大野市愛育会
母子愛育会
北杜市母子愛育会
(48人3団体)
最優秀賞
認定特定非営利活動法
人キープ・ママ・スマ
イリソグ
自治体部門優秀賞
神奈川県横須賀市地域
健康課
団体部門優秀賞
公益財団法人チャイル
ド・ケモ・サポート基金
企業部門優秀賞
株式会社松本山雅



Every Child
a Wanted Child



一般社団法人
日本家族計画協会

